

## 5号炉緊急時対策所設置に伴う評価への影響及び資料変更箇所

審査項目	6, 7号炉（大湊側）の現状評価	現状評価からの変更・影響	第404回審査会合資料変更箇所
敷地内断層	大湊側敷地ではV系・F系断層を切るL <sub>1</sub> 断層が最新活動を持つ。L <sub>1</sub> 断層は古安田層に変位・変形を与えていないことからいずれの断層も将来活動する可能性のある断層等ではないと評価。	5号炉原子炉建屋付近に位置するF <sub>2</sub> 断層についての記載充実。	資料2-2-4 全般 荒浜側の評価対象施設及び3号炉原子炉建屋の評価に関連する資料を削除。 資料2-2-4 5号炉原子炉建屋付近に位置するF <sub>2</sub> 断層の性状に関する資料を追加。
基準地震動	大湊側敷地でS <sub>s</sub> 1～8を設定。	なし	変更なし
基準津波	取水口前面，荒浜側防潮堤を評価地点とし，基準津波1～3を設定。なお，基準地震動S <sub>s</sub> による損傷が想定される防波堤については，防波堤がない場合の評価を実施し，津波水位への影響がないことを確認。	基準地震動S <sub>s</sub> による損傷が想定される荒浜側防潮堤について，防潮堤がない場合の評価を実施し，津波水位への影響を確認。 (防波堤と同様の影響評価を実施)	今後のヒアリングでの指摘事項を資料に反映予定
基礎地盤安定性	評価断面として，6，7号炉汀線平行断面及び67号炉汀線直交断面を選定し，すべり，支持力，傾斜について評価を実施。	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所は，6，7号炉汀線平行断面に含まれていることから，その解析結果から5号炉原子炉建屋のすべり，支持力，傾斜を評価。	資料2-5-1, 2-5-2 全般 荒浜側の評価対象施設及び3号炉原子炉建屋の評価に関連する資料を削除。 資料2-5-1 5号炉原子炉建屋のすべり，支持力，傾斜，及び地殻変動の評価結果を追加。
周辺斜面	大湊側の評価対象施設については，周辺斜面高さの1.4倍，50m以上の離隔があり，施設への影響はないことを確認。	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所は，周辺斜面高さの1.4倍，50m以上の離隔があり，施設への影響はない。	資料2-5-1 5号炉原子炉建屋に対する周辺斜面の評価を追加。
火山	降灰層厚は，敷地で確認されているテフラの最大層厚を踏まえ，保守的に35cmに設定。	なし*	変更なし*

※解析コード『Tephra2』の修正に伴う影響評価については確認中。